

日本教育メディア学会
学会通信第63号

学会ホームページ <http://jaems.jp/>
2013年7月19日発行

事務局
〒176-8534
東京都練馬区豊玉上1-26-1
武蔵大学社会学部
中橋雄研究室内
電話：03-5984-4792
E-mail：office@jaems.jp

目次

ICoME2013のご案内【最終報】	2
第20回年次大会のご案内【第2報】	4
第1回研究会報告	6
論文投稿のご案内とワークショップのお知らせ	7
企画委員会ワークショップのお知らせ	8
第2回研究会のお知らせ	9
学会ロゴの募集について(期間延長・応募資格拡大)	9
学会費納入のお願い、入会者・退会者	11

ICoME2013のご案内【最終報】

国際会議、International Conference For Media in Educationの準備が着々と進められております。「Media driven International Collaboration」(メディアを通じた国際連携)がテーマです。会場は日本福祉大学、美浜キャンパスです。

現在まで、中国、韓国、日本を中心とする発表が110件程度準備され、VISA発給のための書類整備が進められています。

海外研究者との意見交換、共同研究の開始の素晴らしい機会です。ぜひご参加ください。また学部生、院生の発表(ラウンドテーブル)も準備されています。基調講演は白鳳大学の前教育工学会会長、赤堀 侃司(Akahori Kanji)先生にお願いしております。

現在 一般参加者の集約をしております。7月25日(木曜日)をめどに申し込んでください。また間際の名札は「手書き」となります。

<http://icome2013.iwd.jp/registration-j.html>

プログラム概要

8月9日(金)

時間	プログラム
9:30-10:00	レジストレーション
10:00-10:30	開会式
10:30-11:30	基調講演 白鳳大学 赤堀 侃司 教授
11:30-12:00	学生向けラウンドテーブル事前説明
12:00-13:00	昼食
13:00-14:40	コンカレントセッション
14:40-15:00	休憩
15:00-18:00	ラウンドテーブル

8月10日(土)

時間	プログラム
9:00-10:00	レジストレーション
10:00-12:00	コンカレントセッション

12:00-13:00	昼食
13:00-15:00	コンカレントセッション
15:00-15:20	休憩
15:20-16:00	閉会式
16:00	閉会パーティ会場へ移動（バス）
17:00	閉会パーティ

8月11日（日）

時間	プログラム
	カルチュラルツアー 名古屋市文化施設、工場見学など

会場

日本福祉大学 美浜キャンパス 文化ホール・12号館

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田

最寄り駅（知多奥田駅）から正門まではすぐですが、会場までは徒歩で約10分かかります。

会場までのアクセス

名古屋（名鉄名古屋）から

名鉄河和線・知多新線 内海行き 急行・特急で知多奥田駅（約1時間）

河和行きに乗車の場合は途中富貴にて内海行きに乗り換え

中部国際空港（セントレア）から

名鉄常滑線で太田川駅へ（約30分） 名鉄河和線・知多新線 内海行きに乗り換え

急行・特急で知多奥田駅へ（約40分）

河和行きに乗車の場合は途中富貴にて内海行きに乗り換え

直行バス常滑線で知多半田へ（約40分）

知多半田から内海行き 急行・特急で知多奥田へ（約20分）

河和行きに乗車の場合は途中富貴にて内海行きに乗り換え

問い合わせ先 icome2013@iwd.jp

申込サイト、旅館情報 <http://icome2013.iwd.jp/>

第 20 回年次大会のご案内【第 2 報】

I. 開催期日・会場等

開催期日：2013年10月12日（土）10:00～13日（日）17:00まで

開催場所：和歌山大学（基礎教育棟）〒640-8510 和歌山市栄谷 930

※懇親会は10月12日（土）17時から 和歌山大学内レストランにて

年次大会サイト URL: <http://wtoyoda-lab.sakura.ne.jp/jaems2013/>

II. 大会日程（予定）

日 程	時 間	内 容
10月12日 (土)	10:00～	受 付
	10:30～12:30	□ 一般発研究発表（1）
	12:30～13:30	昼 食
	13:30～15:00	□ 講演・対談： テーマ（仮）：「世界最先端 IT 国家創造宣言」を踏まえた「教育の情報化」の展望について ・講演者：新井孝雄（文部科学省生涯学習政策局情報教育課長） ・聞き手：小柳和喜雄（奈良教育大学）
	15:00～15:20	年次大会事務局からの諸連絡／開催校企画について
	15:30～16:30	日本教育メディア学会 総会
	17:00～19:00	懇親会（学内レストラン）
10月13日 (日)	9:00～ 9:30	受 付
	9:30～11:30	□ 一般研究発表（2）
	11:30～12:30	昼 食
	12:30～14:30	◆ シンポジウム： 「タブレット端末・デジタル教科書は授業を変えるか」 ・登壇者（予定）：中橋 雄（武蔵大学）、山中昭岳（関西大学初等部）、楠本 誠（三重県松阪市立三雲中学校）、永野 直（千葉県立袖ヶ浦高等学校） / コーディネーター：中川一史（放送大学）・豊田充崇（和歌山大学）
	15:00～17:00	□ 課題研究Ⅰ：情報活用能力の育成と評価 担 当：寺嶋 浩介（長崎大学） □ 課題研究Ⅱ：『博物館情報・メディア論』を検討する 担 当：村野井 均（茨城大学） □ 課題研究Ⅲ：SNS 利用の実態とその教育利用 担 当：久保田 賢一（関西大学）
閉 会		

Ⅲ. 発表申込・参加申し込み等

現在、一般研究発表の申し込みを受け付けております。ぜひ多くの皆様のご参加をお願いいたします。原稿提出方法・申し込みアドレス等詳細は、年次大会サイトをご覧ください。

◆「一般研究（2ページ）（日本語と英語）」

原稿提出期間 2013年7月15日（月）～9月12日（木）

【原稿ファイル提出先：jaems2013-ippan@wtoyoda-lab.sakura.ne.jp】

・上記アドレスまで添付ファイルにて提出してください。

（編集の都合上、できるだけWord形式・一太郎形式ファイルでのご提出をお願いします。その他のファイルの場合は、必ず本文にファイル形式を明記して下さい。）

・メールタイトルには、「一般研究」とお書きください。

・本文には、所属・役職・氏名を必ずご記入ください。

※期日までに提出された原稿の受領をもって発表申し込みとさせていただきます。

※別途、大会サイトから「参加申込み」もお願いいたします。

※一般研究に英文で提出する場合は発表も英語で行って頂きます。

（英語での論文は10件程度まで受け付けます。）

【年次大会参加費等一覧】

		9月13日（金）までに支払いの場合	当日支払いの場合
参加費	会員	5,000円	6,000円
	学生会員	3,000円	4,000円
	非会員	6,000円 ※教員の場合 2,000円	7,000円 ※教員の場合 2,000円
冊子・CD-ROM (追加分)	3,000円（郵送料500円） ※参加費には1セット分含まれています。		
懇親会 (10/12 夕刻)	5,000円（学生3,000円） ※懇親会場の都合上、当日参加不可場合があります。 できるだけ事前に参加申し込み・入金をお願いします。		

※なお、本年度も学会員以外の参加を促すために、会員以外の学校教員向け参加費を安価に設定しております。ぜひ、周りの方へのお声がけをどうぞよろしくお願いいたします。

※事前申し込みや入金方法については年次大会サイトに掲載しておりますのでご参照下さい。

Ⅳ. 年次大会事務局について

年次大会に関するお問い合わせは大会サイト内の「お問い合わせフォーム」から入力するか、もしくは下記まで電話または電子メールにてお願いします。

◆年次大会事務局 直通電話 073-457-7536 / Fax 073-457-7538

和歌山大学教育学部 豊田研究室内(教育学部附属教育実践総合センター205室)

メールアドレス jaems2013-office@wtoyoda-lab.sakura.ne.jp

第 1 回研究会報告

湘北短期大学 佐藤知条

2013 年度第 1 回研究会が、湘北短期大学にて 7 月 6 日（土）に開催されました。7 件の研究発表と、研究会テーマである「教育メディアの温故知新」に沿ったシンポジウムが行われました。会員以外の方も多数参加され、幅広い視点から議論が交わされました。

研究発表で多かったのが、教科書に関するテーマのものでした。指導者用デジタル教科書の活用状況やデジタル教科書の活用の可能性と課題、そして現在の教科書における映像メディアの扱いなどについて発表がなされました。利用者への調査や実践の省察などをものとした具体的かつ示唆に富んだものばかりで、議論も積極的に行われました。さらに、授業研究、メディアを介した家庭と学校との学習の連携、地域性や民族性とメディア作品との関連、映像読解に関する日米比較についての発表も行われました。質疑の場面では、本学会会員以外の方からも質問が出され、テーマについて多様な観点から考える場となったと思います。



後半のシンポジウムでは「映像イメージに見る教育メディアの過去・現

在・未来」という演目で、教育メディアの過去を具体的な映像をもとに読み解きながら、将来のあり方について考える試みを行いました。登壇者の宇治橋祐之会員からは、NHKが進めている番組アーカイブ化の現状について報告がありました。黎明期の教育番組（学校向けだけではなく教育ドキュメンタリーも含む）などもアーカイブ化と公開が進んでいることが、実際のウェブサイト上の動画を視聴しながら紹介されました。そして、研究者がこれらを積極的に利用してアーカイブの重要性を高めていくことがこれからの課題になるという指摘がなされました。稲垣忠会員は、これまでに総務省や文部科学省が提示してきた「未来の教室」のイメージ図の変遷と、それぞれの図に込められたメッセージを解説していただきました。そして過去のイメージ図に描かれていたことが現実になりつつある一方で、多様なメディア利用の可能性をどうわかりやすくイメージ化していくかが課題だとの指摘をいただきました。最後には司会から戦前期の幻燈用スライドの紹介が行われ、デジタルメディアとの共通性についても話が及びました。登壇者の専門に沿いながら、過去の資料をいかに読み解き、将来につなげるかを幅広く考えるきっかけとなる会となりました。ご参加いただいた方に、心より御礼を申し上げます。

論文投稿のご案内とワークショップのお知らせ

■特集号「学習科学と教育メディア研究の接点」(Vol. 20, No. 2) 募集のお知らせ
日本教育メディア学会では、20号2巻で「学習科学と教育メディア研究の接点を探る」の特集論文を組みます。加えて、一般論文も募集致します。

締切：2013年7月30日

■投稿論文募集 (Vol. 21, No. 1) のお知らせ

締切：2014年1月30日

■特集号「国際連携・国内連携におけるメディア活用」(Vol. 21, No. 2) のお知らせ

締切：2014年7月30日

20号2巻の教育メディア研究では、「国際連携・国内連携におけるメディア活用」というテーマで特集を組みます。学校間交流、高大連携、地域社会と連携したサービスラーニング、海外と連携したフィールドワーク、産学連携、オープンコースウェアを活用した学習など、教室の枠を超えた様々な教育実践が多くみられるようになりました。このような教室の枠を超えた実践においてメディアの活用は不可欠です。ソーシャルメディア、TV会議システム、LMSなどの様々なメディアを活用した国際連携・国内連携による教育実践を多様なアプローチから研究している研究論文を募集します。

■ワークショップのお知らせ「国際連携・国内連携におけるメディア活用」

また、これに伴い、本特集論文への関心を持っていただくため、「国際連携・国内連携におけるメディア活用」に関するワークショップを実施します。本テーマのキーワードとなる「異なる文化間の協働」および「異なる文化間の越境」を研究する手法について学び、メディア研究との接点について考えたいと思います。

日時：2014年1月25日 午前10時から午後5時まで

場所：関西大学 東京センター(予定)

<http://www.kansai-u.ac.jp/tokyo/map.html>

定員：30名

テーマ：国際連携・国内連携におけるメディア活用

内容：「異なる文化間の協働」および「異なる文化への越境」を研究するための手法を学ぶ

企画委員会ワークショップのお知らせ

企画委員会では、2013年12月21日(土)12:45受付、13:15～16:30 内田洋行新川オフィス（東京・八丁堀）において『子ども（幼児・小学校低学年）向けメディア教材を用いた思考をはぐくむ学びと遊びのデザイン』と題したワークショップを開催します。

幼児や小学校低学年までの子どもを楽しませるメディア教材のデザインには、中学年以降の子どもにも共通するものがあると考え、その内容を探りたく、今回の企画に至りました。子どもの教材・デザイン研究の最前線3名の登壇者を迎え、講演・ワークショップへとつなげます。

<登壇者プロフィール>

沢井佳子氏

チャイルド・ラボ所長を務められ、映像メディアを用いた認知発達支援をテーマに、幼児教育テレビ番組『しまじろうのわお!』など多数の監修をされています。

森田倫代氏

フジテレビ「ひらけ!ポンキッキ」など子ども番組のディレクターを経て、現在NHK Eテレ「みいつけた!」ディレクターをされています。演劇のワークショップの手法を取り入れ、感性を育てるプロフェッショナルです。

朝倉民枝氏

(株)グッド・グリーン代表を務められ、子どものためのインタラクティブ絵本「ピッケのおうち」や「ピッケのつくるえほん」を制作、今秋には小学校低学年向け「ピッケのつくるプレゼンテーション」をリリースされます。

<時程>

- | | |
|-------------|------------------------------------|
| 12:45～ | 受付開始 |
| 13:15～13:20 | 開会、主催者あいさつ、趣旨説明 |
| 13:20～14:50 | 沢井先生、森田先生、朝倉先生からのミニ講演（質疑含め、各30分程度） |
| 14:50～15:00 | 休憩 |
| 15:00～16:15 | ドラマ手法を使ったコミュニケーションワークショップ |
| 16:15～16:30 | 子ども向けメディア教材の不易と未来の流行について（各5分） |
| 16:30～ | 閉会 |
| 17:00～ | 懇親会場へ移動 |

詳細は、次回学会通信等でお知らせいたします。

第2回研究会のお知らせ

2013年度第2回の研究会は、下記の通り開催します。詳しい内容は2ヶ月くらい前に学会HP上でお知らせします。ご準備を宜しくお願いします。

第2回：2014年3月15日（土）「ICTと授業実践・学習支援（仮題）／一般」
岩手県立大学アイーナキャンパス（担当 市川尚）

学会ロゴの募集について(期間延長・応募資格拡大)

日本教育メディア学会では、このたび学会 Web サイトの刷新と併せて、学会ロゴを制作するため、そのデザインを公募することになりました。シンプルで親しみやすく、力強い作品を求めます。奮ってご応募ください。

<募集要項>

1. 目的

本学会の理念・目標・特色などを表現した、日本教育メディア学会にふさわしいロゴマークを制定し、今後の学会活動（Web、大会のポスター、封筒、その他の印刷物のマーク）などに使用します。

2. 主催 日本教育メディア学会

3. 公募内容 日本メディア学会（JAEMS）のロゴマークの基本デザイン、ラフスケッチ

4. 公募期限 2013年9月1日（日）※期間を延長しました。

5. 応募資格 学会員に限らず、どなたでも応募できます。 ※応募資格を拡大しました。

6. 応募要領

以下の「ロゴマーク応募フォーマット」に必要事項を記入の上、基本デザイン、ラフスケッチ（以後、作品と表現します）とともに下記に提出して下さい。

なお、応募にあたり点数に制限はありません。応募にあたって要する経費は、応募者の負担となります。応募作品は、返却しません。

7. 作成要領

ロゴマークの原案となる「基本デザイン」又は「ラフスケッチ」とし、Windows 又は Macintosh パソコンで閲覧可能なデータ及び PDF ファイルで提出して下さい。送付方法は郵送又は電子メールへの添付での送付とします。

色は、カラー（印刷物を配慮して、数色の組み合わせ）または単色とします。カラーに

より提出する場合は、カラーのものと単色のものを提出してください。カラーの作品を単色で印刷することがあります。

縦書き、横書きを使い分ける必要がある場合は、縦書き、横書き両方のデザインも提出してください。

8. 作品の著作権

商標・意匠 作品の著作権・商標・意匠に関して以下の条件があります。

- (1)未発表の基本デザインあるいはラフスケッチに限ります。また、作品の中に第三者が著作権等の権利を有している著作物等を利用していないこととします。
- (2)最優秀作品として、学会のロゴとして採用した作品の著作権・商標・意匠に関し、応募者は以下のことを認めることとします。
- (3)採用作品のロゴ、学会が改変したロゴ、あるいは作品を元に作成したロゴの著作権は学会に移転し、学会の封筒、論文誌、ニューズレター、全国大会の論文集やポスター、学会のホームページ等、学会が必要と認めたところに利用します。学会が作品を加工した二次的著作物に関する著作権も学会が有することとします。
- (4)学会が決定したロゴの商標・意匠の出願・登録をする権利を学会が有することを認めることとします。
- (5)最優秀作品の著作者人格権を応募者は行使しないものとします。採用されなかった作品の著作権は学会に移転しませんが、応募事業の紹介や記録のために学会が利用することがあります。

9. 選考 日本教育メディア学会「ロゴ選考委員会」で選考します。

10. 発表

2013年10月上旬に発表します。なお、入賞作品の応募者に直接連絡するほか、本学会のホームページやニューズレターに採用した応募者の作品を含めて結果を掲載します。

11. 表彰

最優秀作品1点に対して、本年10月の学会時に広く取り上げ紹介します。

12. 備考

日本教育メディア学会の活動に関しては、本ホームページをご参照ください。

13. 応募

問い合わせ先 日本教育メディア学会 事務局「ロゴ選考委員会」

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1 武蔵大学社会学部 中橋 雄研究室内

日本教育メディア学会事務局

電話：(03) 5984-4792 メール：office@jaems.jp

【応募フォーマット】

必要事項を記入のうえ、作品とともに、郵送又はメールへの添付でお送りください。ただし、メールへの添付の場合は、自筆署名後、デジカメでデジタル化したもの又はスキ

ャナで PDF 化したものとします。

氏名、所属、連絡先、住所、電話/FAX、e-mail

応募作品の種別（基本デザイン、ラフスケッチ）該当するものに○印をつけて下さい。

デザインのコンセプトの説明

採用作品の著作権に示された条件を許諾します。自筆署名（ ）

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2013 年度（2013 年 4 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日）の年会費（正会員 7,000 円、学生会員 4,000 円）が未納の方は、下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨンイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガッカイ）
--

- ※ 振込手数料は、ご負担ください。ゆうちょ銀行口座から ATM を使って納入いただく場合、手数料は無料です。
- ※ 振込人名義は「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、事務局にメールでご連絡ください。大学事務局を通じた大学名による振り込みは、どなたの会費か判断できないため避けていただくようお願いいたします。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には、学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は、学生・大学院生（社会人学生を除く）です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください（スキャナ、デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます）。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では、「学会通信」および重要お知らせを電子メールで会員に配信しております。また、学会論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを確実にお届けするために、学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は、事務局までメールアドレス、お届け先住所の情報をお送りくださるよう、よろしくお願いいたします。

【入会者・退会者】※敬称略

新入会員・正会員（2名）・・・鈴木 雄清、片野 俊行

会員総数 361名・16団体

名誉会員：3名

正会員：330名

学生会員：28名

団体会員：6団体

購読会員：10団体

（2013年7月11日現在）

日本教育メディア学会 事務局

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

武蔵大学社会学部 中橋雄研究室内

電話：03-5984-4792 E-mail：office@jaems.jp

学会ホームページ URL：<http://jaems.jp/>

広報委員会

委員長 小柳和喜雄（奈良教育大学）

副委員長 永田智子（兵庫教育大学）

副委員長 村上正行（京都外国語大学）

（2013年7月17日現在）